



2025.10月

小平市

子育て支援課



こどものけんりつうしん



こどもの権利に関する講演会や、こどもの声を聴きながら実施した取組をご紹介します。

こどもの権利講演会



FC東京石川直宏さんが語る こどもが輝くためにできること

元サッカー日本代表で、現在はFC東京のコミュニティジェネレーターいしかわなおひろの石川直宏さんをお招きし、サッカー選手、指導者、二児の父親としてのご自身の経験をもとに「こどもが輝くためにできること」をテーマにお話しいただく講演会を開催します。

こどもやその保護者の方、こどもの権利に興味関心のある方などのご参加をお待ちしています。くわしくは2次元コードから小平市ホームページをご覧ください。

とき 11月15日(土)

10時～11時30分

ところ 中央公民館2階ホール



講師 石川直宏さん ©FC TOKYO

くわしくは→



若者応援ガイドブック特集ページを 武蔵野美術大学の学生が作成しました！

市が発行する「若者応援ガイドブック」の特集ページ「ヤングケアラーのこと」を武蔵野美術大学の学生たちが作成しました。ヤングケアラーの周知・啓発事業として行った出前授業とグループワークを通してヤングケアラーについて学び、調査したことや感想を記事にしています。また、ヤングケアラーに関するディスカッションを行い、複数のロゴマークを作成し、見た人がどのような印象をもつか調査しました。

若者応援ガイドブック
電子版はこちら→



調査・分析

方法

ディスカッションを元にデザインA、デザインBを制作し、それぞれ「コンセプト」を定めた。ヤングケアラーを普及・啓発するという目的が伝わるか、コンセプトが想定した通りに伝わるかを調査。

その上で、どちらのデザインが効果的な普及啓発を実現できるかを分析しました。

結果

デザインA・デザインB、どちらのデザインも、その「メッセージ対象者は第三者である」と感じることが多く、デザインAはその本来のコンセプトをきちんと伝えることのできるデザインではないことが分かりました。

一方、デザインBの方がデザインAよりも「ヤングケアラーへの支援・関心を持つと感じる」人が多いことも分かりました。



「第三者への直接的な支援を促す
ポップ・応援メッセージ」



「第三者へ間接的な支援を促す
穏和・警告メッセージ」

こだいらこども・若者みらいプランへの意見を募集します

小平市のこどもが毎日幸せにくらせる「こどもまんなか社会」になるように、小平市ではこだいらこども・若者みらいプランという計画を作っています。この計画はこどものための大事な計画です。ぜひ、こどもも大人も、思ったことや感じたことを小平市におきかしてください。

意見の募集期間 11月15日～12月14日(予定)

意見は児童館、市役所の子育て支援課窓口、小平市ホームページ、メール・ファックスで送ることができます。

くわしくは市報11月20日号をご覧ください。



予告！
こどもは寄せ書きで
意見表明できます！

小平第三小学校で出前授業

「こどもまんなか社会ってどんな社会？」を行いました！

7月に小平第三小学校の6年生に出前授業を行いました。

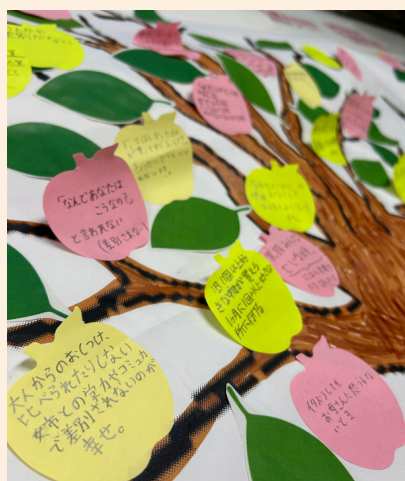
こどもの権利について勉強したあとに

「毎日幸せだなんて感じる暮らしってどんな暮らし？」

をテーマにグループワークをしました。

- ・大人から押しつけられたりしない
- ・差別をされたり、比べられたりしない
- ・自分の気持ちを受け止めてもらえる
- ・やりたいことができて楽しめる

などのみんなから出たたくさんの意見を共有しながら
大きなリンゴの木をつくりました。



発行 小平市こども家庭部子育て支援課

kosodateshien@city.kodaira.lg.jp 令和7年10月vol.2